

第4章 施設計画

4-1 必要機能からの規模設定

(1) 図書館の規模設定

公益社団法人日本図書館協会では、「公立図書館の任務と目標（2009年改訂）」を示しており、その中で「図書館による町村ルネサンス Lプラン 21」の数値基準を改訂するため、「日本の図書館 2003」によって新たに平均値を算出し、これをもとにした「数値基準」として提案しています。また、文部科学省では、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（文部科学省告示第172号、2014年）」のなかで、各人口段階の貸出密度上位10%の平均値を「目標基準例」として示しています。

	公立図書館の数値基準 (日本図書館協会)	図書館の設置及び運営上の望ましい基準 (文部科学省告示第172号)
延べ床面積	人口6,900人未満1,080㎡を最低とし、 人口46,300人まで1人につき0.05㎡ 【黒部市】41,870人(H28.7) $1,080 + ((41,870 - 6,900) \times 0.05) = 2,828.5 \text{㎡}$	各人口段階貸出密度上位10%の平均値を 目標基準例として設定 【黒部市】41,870人(H28.7) (人口4~5万人目標値) = $3,373.8 \text{㎡}$
蔵書冊数	人口6,900人未満67,270冊を最低とし、 人口46,300人までは1人につき4.8冊 【黒部市】41,870人(H28.7) / 162,564冊 $67,270 + ((41,870 - 6,900) \times 4.8) = 235,126 \text{冊}$	各人口段階貸出密度上位10%の平均値を 目標基準例として設定 【黒部市】41,870人(H28.7) (人口4~5万人目標値) = $240,459.6 \text{冊}$
開架冊数	人口6,900人未満48,906冊を最低とし、 人口46,300人までは1人につき2.51冊 【黒部市】41,870人(H28.7) $48,906 + ((41,870 - 6,900) \times 2.51) = 136,681 \text{冊}$	各人口段階貸出密度上位10%の平均値を 目標基準例として設定 【黒部市】41,870人(H28.7) (人口4~5万人目標値) = $161,385.8 \text{冊}$

- ・上記数値基準に基づき、(仮称)くろべ市民交流センターの図書館機能の規模を以下のとおり設定します。

項目	数値基準	現図書館の規模	図書館機能の規模	備考
延べ床面積	3,373.8㎡	1,124.13㎡	3,300㎡	
蔵書冊数	240,459.6冊	167,806冊(4.01冊/人)	250,000冊	5.97冊/人
開架冊数	161,358.8冊	—	160,000冊	

(富山県統計書 H27)

	魚津市	滑川市	氷見市
人口1人当り蔵書数	5.95冊	5.02冊	5.08冊

(2) 図書館各コーナーの規模設定

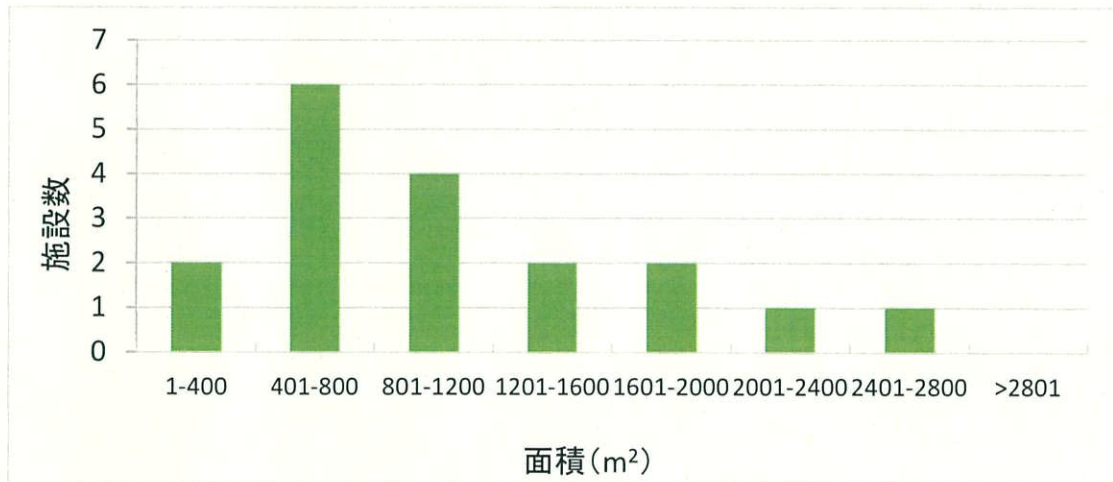
図書館の各コーナーの面積規模を検討するため、インターネット等でコーナー別の面積が把握できた複合施設 17 施設、公立図書館 13 施設の事例を整理し、一般図書、児童図書、郷土資料など、コーナーごとの面積の平均値などを算定した。

区分	施設名	所在地	図書館面積 (㎡)
複合	城島総合文化センター久留米市立城島図書館	福岡県久留米市	992
複合	河内長野市立市民交流センターKICCS	大阪府河内長野市	3,910
複合	岡崎市図書館交流プラザLibra	愛知県岡崎市	
複合	いわて県民情報交流センターアイーナ	岩手県盛岡市	10,590
複合	いわき市立いわき総合図書館	福島県いわき市	8,602
複合	南砺市立中央図書館	富山県南砺市	
複合	塩尻市民交流センターえんぱーく	長野県塩尻市	3,286
複合	直江津学びの交流館上越市立直江津図書館	新潟県上越市	2,423
複合	武蔵野プレイス	東京都武蔵野市	
複合	韮崎市民交流センターNICORI	山梨県韮崎市	
複合	児島市民交流センター	岡山県倉敷市	5,781
複合	田辺市文化交流センターたなべる	和歌山県田辺市	2,004
複合	徳島市立図書館	徳島県徳島市	3,200
複合	みんなの森ぎふメディアコスモス	岐阜県岐阜市	
複合	江東区豊洲シビックセンター	東京都江東区	
複合	上戸田地域交流センターあいパル	埼玉県戸田市	540
複合	みよし市図書館学習交流プラザサンライブ	愛知県みよし市	
図書館	富士宮市立中央図書館	静岡県富士宮市	3,802
図書館	徳島県立図書館	徳島県徳島市	8,989
図書館	守谷中央図書館	茨城県守谷市	3,523
図書館	桜井市立図書館	奈良県桜井市	4,058
図書館	茨城県立図書館	茨城県水戸市	8,701
図書館	萩市立萩図書館	山口県萩市	2,914
図書館	日進市立図書館	愛知県日進市	6,102
図書館	上田市立真田図書館	長野県上田市	1,367
図書館	富士宮市立芝川図書館	静岡県富士宮市	663
図書館	島田市立島田図書館	静岡県島田市	12,540
図書館	山梨県立図書館	山梨県甲府市	10,555
図書館	飯能市立図書館	埼玉県飯能市	2,712
図書館	聖籠町立図書館	新潟県北蒲原郡	2,606

① 一般図書コーナーの面積

一般図書コーナーの面積について、先進事例調査では、400～800㎡の施設が多く見られ、延面積が3,000㎡前後の図書館においても、400㎡～1,200㎡の面積を確保していることから、800㎡と設定します。

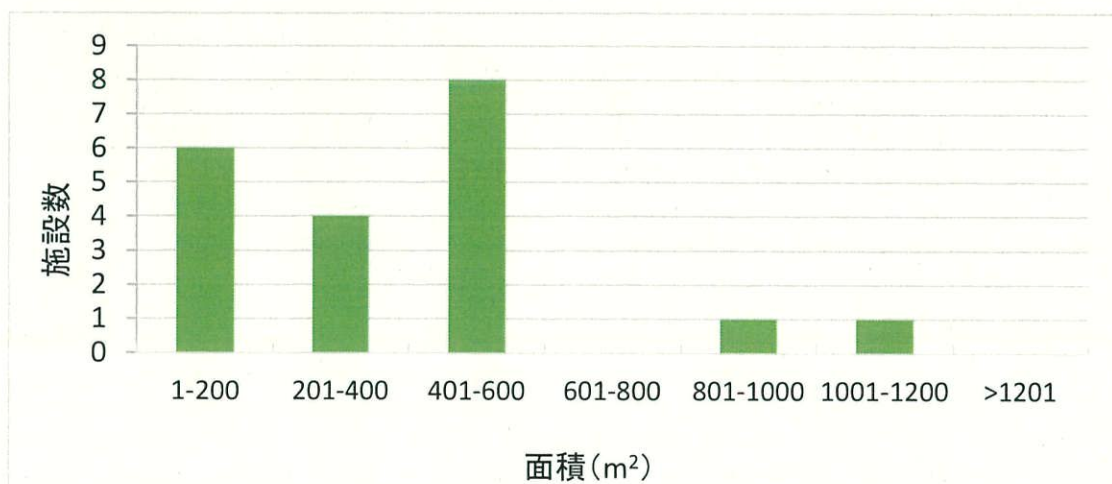
施設平均	1,014.8㎡
最も多いのは401㎡～800㎡、次いで801㎡～1,200㎡。	



② 児童図書コーナーの面積

児童図書コーナーの面積について、先進事例調査では、400㎡前後の施設が多く見られることから、400㎡と設定します。

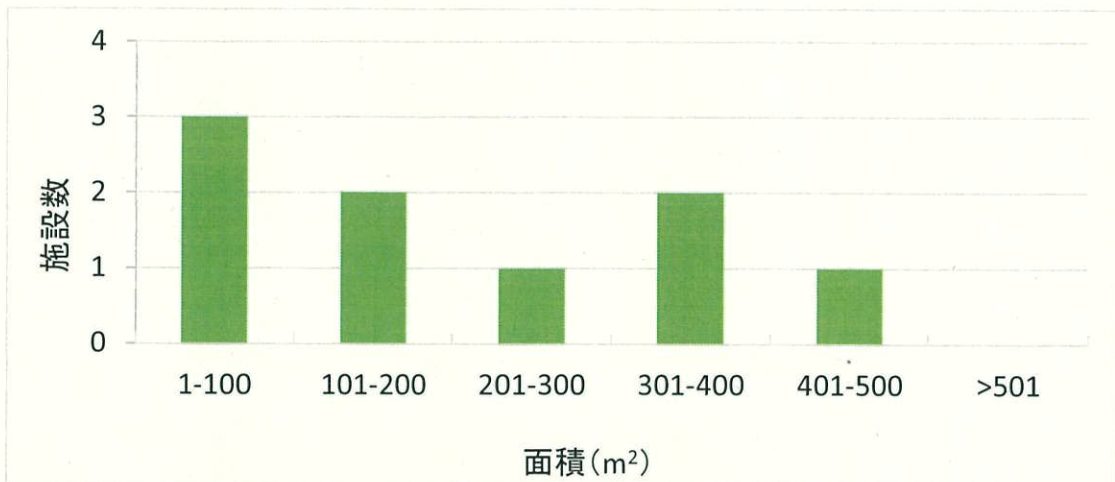
施設平均	381.8㎡
最も多いのは401㎡～600㎡、次いで1㎡～200㎡。	



③ 新聞・雑誌コーナーの面積

新聞・雑誌コーナーの面積について、先進事例調査では、100㎡以下の施設が多く見られることから、100㎡と設定します。

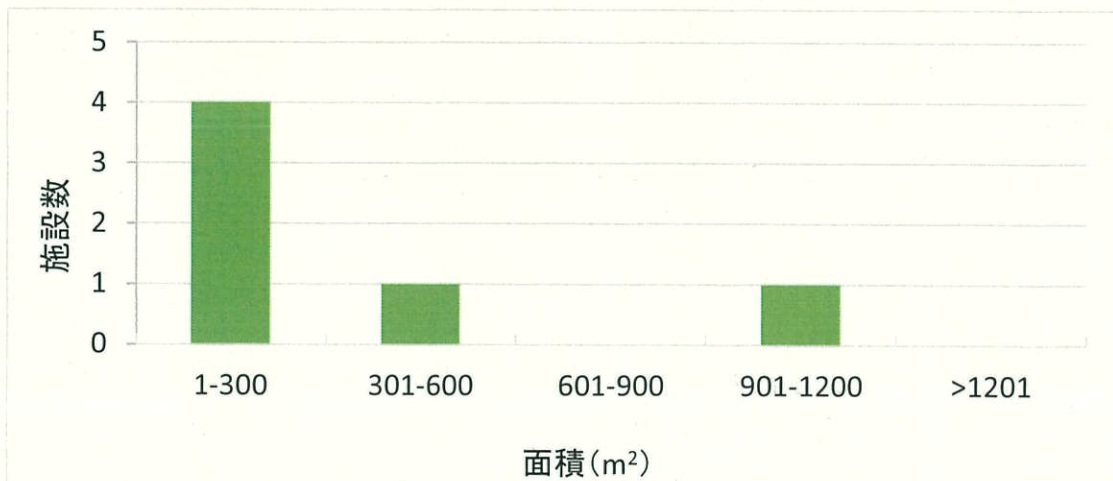
施設平均	219.9㎡
最も多いのは1㎡~100㎡、次いで101㎡~200㎡, 301~400㎡。	



④ 郷土資料コーナーの面積

郷土資料コーナーの面積について、先進事例調査では、300㎡以下の施設が多く見られることから、100㎡と設定します。

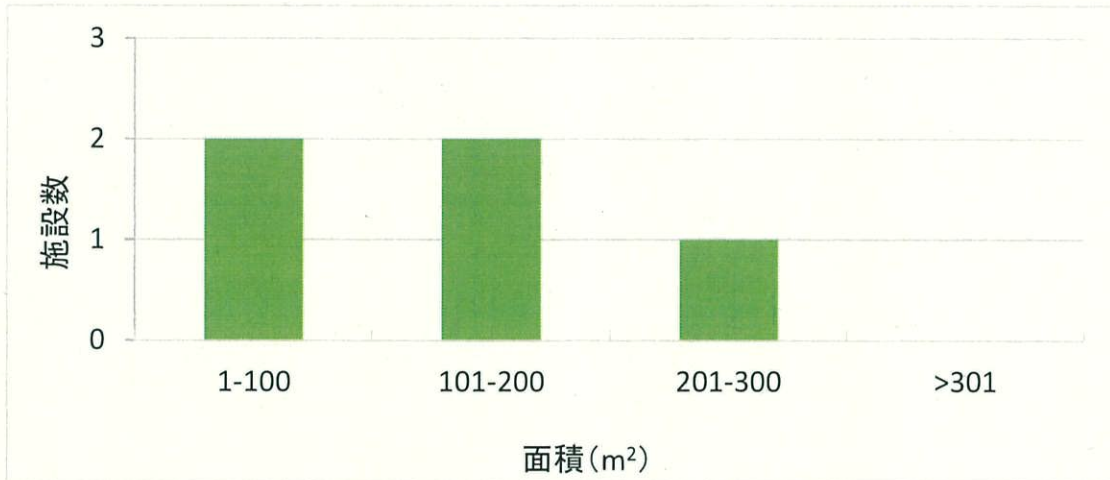
施設平均	326.9㎡
最も多いのは1㎡~300㎡、次いで301㎡~600㎡, 901~1,200㎡。	



⑤ PC・AVコーナーの面積

PC・AVコーナーの面積について、先進事例調査では、平成20年以降に建築された図書館では100㎡以上のスペースを確保している施設が多いことから、100㎡と設定します。

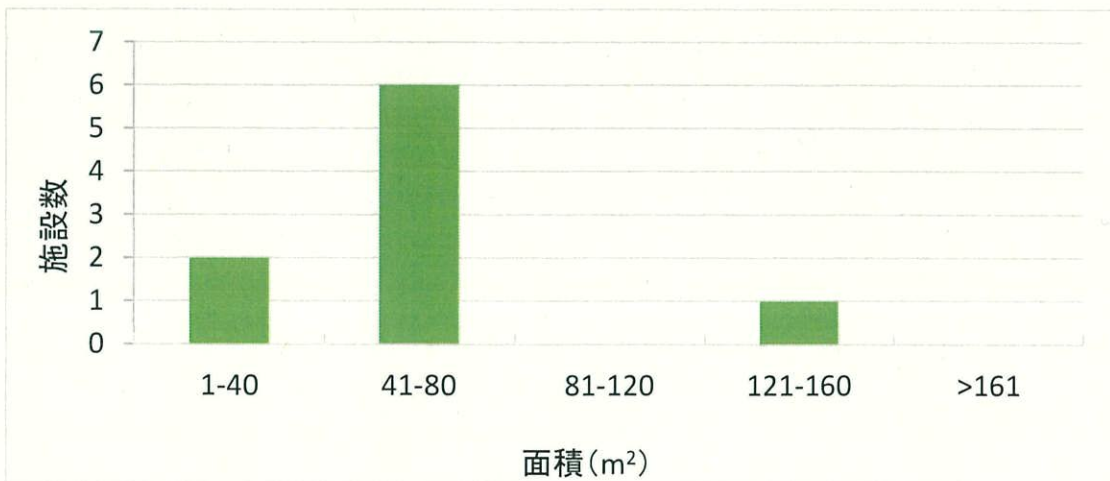
施設平均	146.4㎡
200㎡以下がほとんど	



⑥ 読み聞かせコーナーの面積

乳幼児や児童に絵本などを読み聞かせるコーナーの面積について、先進事例調査では、延面積3,000㎡前後の図書館で30~60㎡を確保している施設が多いことを踏まえ、子育て支援施設との連携も考慮し80㎡と設定します。

施設平均	57.9㎡
最も多いのは41㎡~80㎡、次いで1㎡~40㎡	



(3) 子育て支援機能の規模設定

子育て支援機能は、現在、黒部ショッピングセンターメルシー2階の子育て支援センターと同規模の機能と乳児のプレイルーム、幼児から小学校低学年までが遊べるキッズコーナーのほか授乳室などのスペースを確保します。

諸室	面積根拠など	面積
子育て支援センター	職員・ボランティア事務所 60 m ² 乳児用プレイルーム 140 m ²	200 m ²
キッズコーナー	幼児、低学年プレイルーム 120 m ² 授乳室 20 m ²	140 m ²

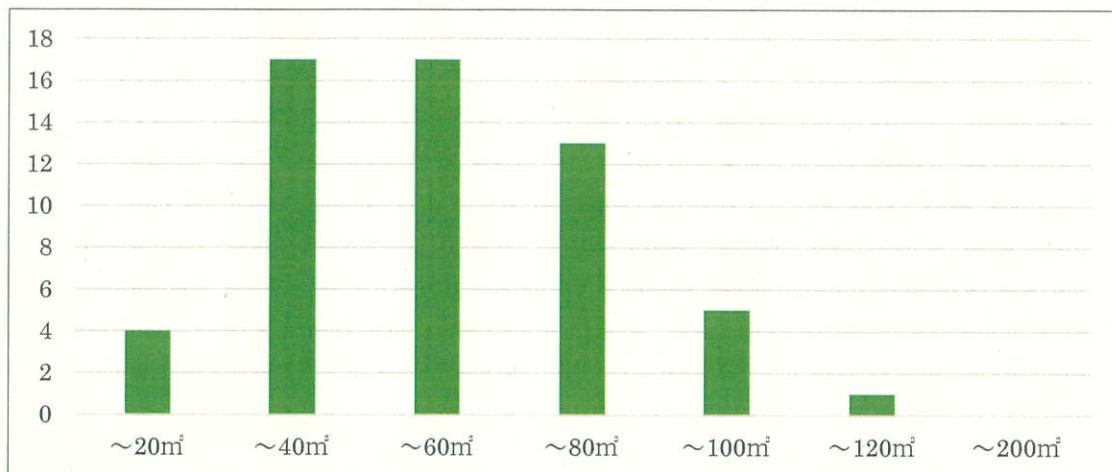
(4) 生涯学習・市民活動・ビジネス支援機能の規模設定

生涯学習・市民活動・ビジネス支援機能として、会議室・研修室、多目的ホール、調理室、音楽スタジオ等のスペースが必要であり、面積規模を検討するため、現在の三日市公民館、働く婦人の家、市民会館の利用状況と利用形態に加え、インターネット等でコーナー別の面積が把握できた複合施設8施設の事例を整理し、各諸室の面積を算定します。

区分	施設名	所在地	延床面積 (m ²)
複合	河内長野市立市民交流センターKICCS	大阪府河内長野市	16,374
複合	岡崎市図書館交流プラザLibra	愛知県岡崎市	18,000
複合	塩尻市民交流センターえんぱーく	長野県塩尻市	11,902
複合	武蔵野プレイス	東京都武蔵野市	9,809
複合	韮崎市民交流センターNICORI	山梨県韮崎市	15,346
複合	児島市民交流センター	岡山県倉敷市	9,099
複合	みんなの森ぎふメディアコスモス	岐阜県岐阜市	15,444
複合	みよし市図書館学習交流プラザサンライブ	愛知県みよし市	7,113

① 会議室・研修室の面積

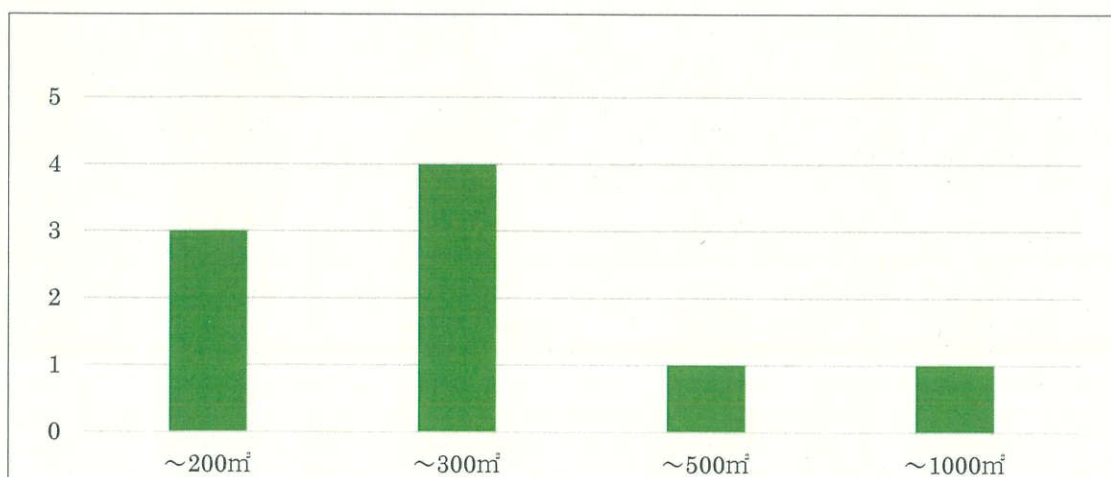
会議室・研修室の面積について、現在の三日市公民館、働く婦人の家、市民会館の利用状況と利用形態に加え、先進事例調査では、40㎡以下と60㎡以下の部屋を確保している施設が多いことから、60㎡の小会議室と100㎡の中会議室と設定し、可動壁などで分割・統合が行えるよう工夫します。



施設平均	51.9 ㎡
最も多いのは、1 ㎡~40 ㎡と 41 ㎡~60 ㎡	

② 多目的ホールの面積

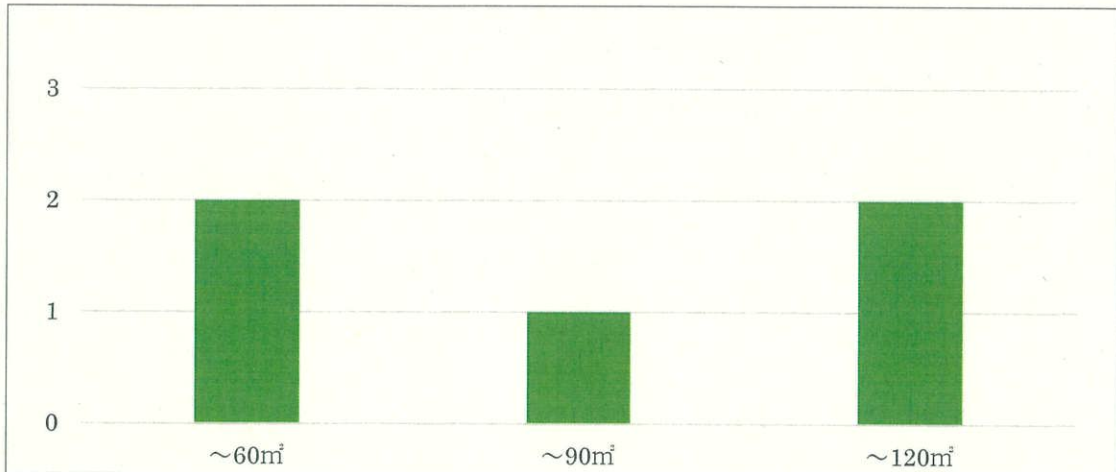
多目的ホールの面積について、現在の三日市公民館、働く婦人の家、市民会館の利用状況と利用形態に加え、先進事例調査では、300㎡以下の施設が多いことから、300㎡と設定します。



施設平均	285.6 ㎡
最も多いのは 201 ㎡~300.㎡、次いで 1 ㎡~200 ㎡	

③ 調理室の面積

調理実習や食育、離乳食講座などを開催するための調理室の面積について、先進事例調査では、90 m²以下（調理台 4 台程度）の施設が多いものの、旧保健センターの調理室が調理台 7 台で約 95 m²であったことから、100 m²と設定します。

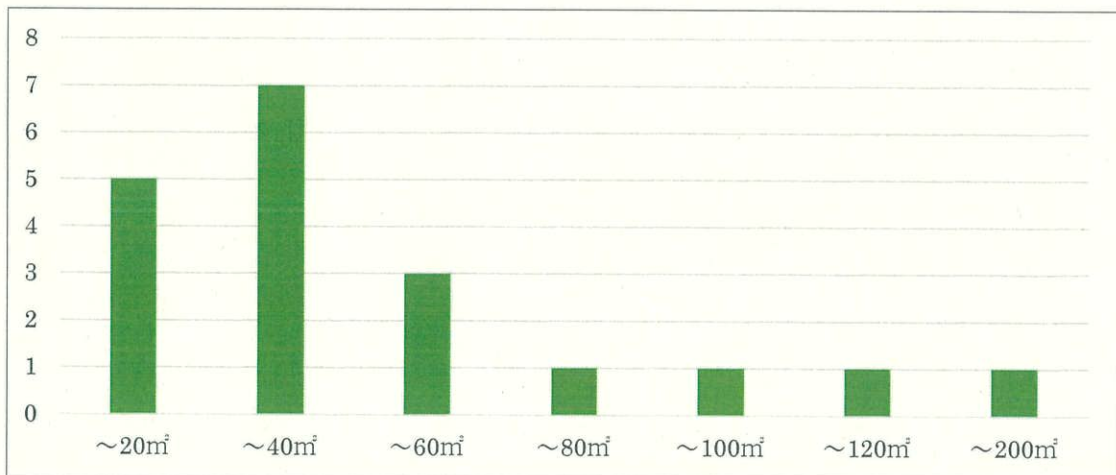


施設平均	81.7 m ²
------	---------------------

最も多いのは 90 m ² 以下、次いで 120 m ² 以下

④ 防音スタジオの面積

楽器練習やダンス教室等が開催できる防音スタジオについて、先進事例調査では、40 m²以下の施設が多いことから、40 m²と設定します。



施設平均	48.3 m ²
------	---------------------

最も多いのは 1~40 m ² 、次いで 41~60 m ²
--

4-2 ゾーニング計画

(1) フロア毎の機能分担

図書館として3,300㎡が必要であり、庁舎跡の敷地面積などから施設全体の大きさを40m×40mの4階建てと設定します。

地下を図書館の閉架図書スペースとして活用することも考えられますが、浸水対策、湿気対策などによる建築コストや維持管理コストの増加が想定されることから、現時点では地下利用を検討しないものとします。

(仮称)くろべ市民交流センターは複合施設であることから、利用者への利便性を考慮しフロア毎に機能分担するものとします。

(2) 施設の配置の考え方

施設の配置については、図書館を核とした複合施設として、3階から4階に図書館を配置し市民の交流が自然に発生する案(A案)と、多様な世代が利用する図書館利用者の利便性を考慮し、1階から2階に配置する案(B案)の2案が考えられます。

(3) 施設配置(A案とB案)の比較

施設のゾーニング計画にあたり、A案とB案を別表(施設配置の比較)のとおり整理します。

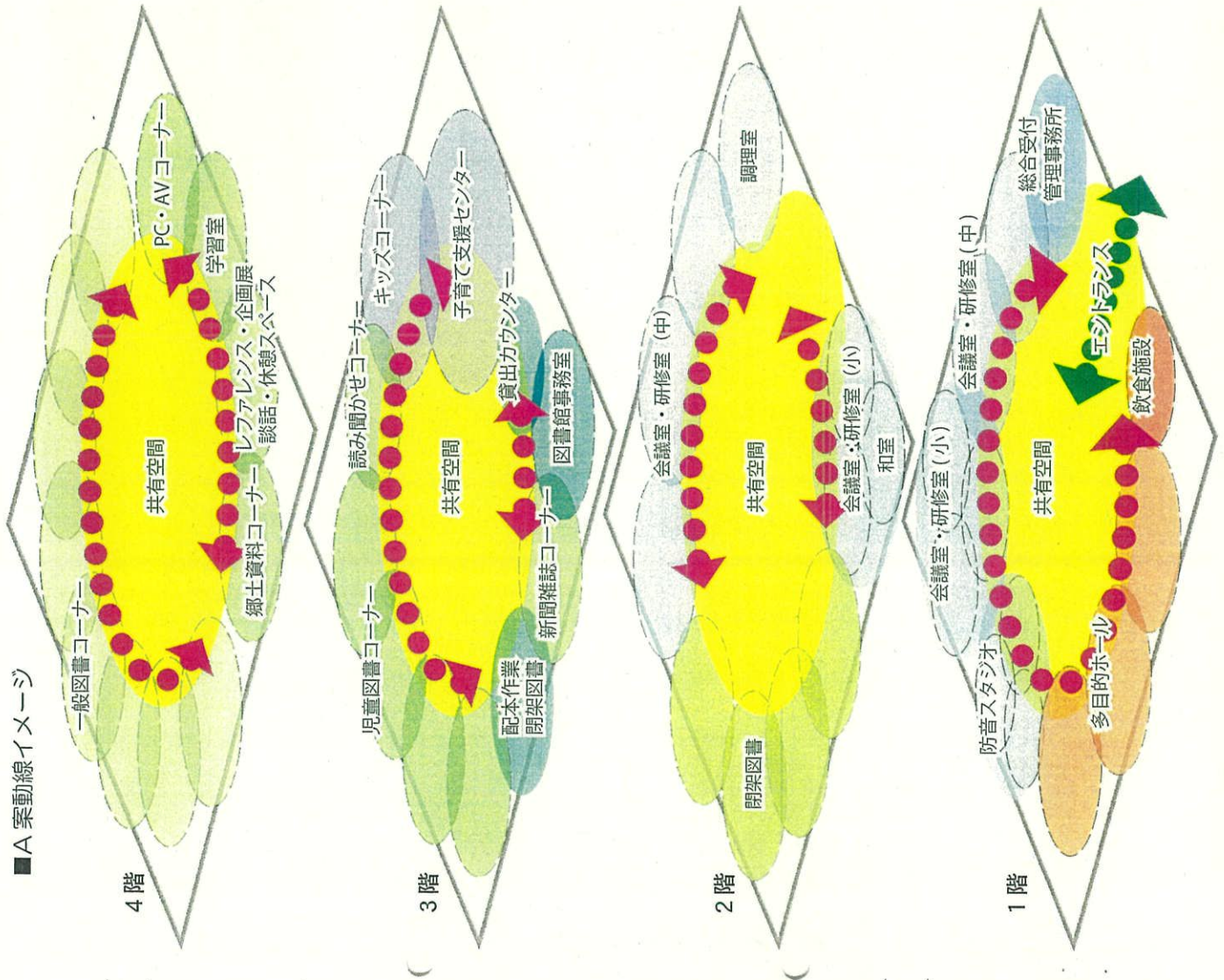
■施設配置の比較

項目	A案(図書館を3階～4階に配置)	B案(図書館を1階～2階に配置)	備考																														
1 配置のメリット	<ul style="list-style-type: none"> 1階フロアの活動や展示に来館者全員が触れることとなり、新たな交流が期待できます。 駐車場などと一緒にとなった公民館等のイベントの実施が可能となります。 多目的ホールに多くの人が集まる際に混乱を避けることができま 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な世代が利用する図書館の利便性、安全性を確保できます。 生涯学習施設や多目的ホールの利用者が図書館へ立ち寄りやすくなります。 4階生涯学習機能の静寂性や眺望景観が確保できます。 図書館増築が必要な場合に対応が可能となります。 																															
2 配置の理由	<table border="1"> <thead> <tr> <th>階</th> <th>主な機能</th> <th>配置理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>図書館機能</td> <td>最も利用者の多い図書館を3、4階に配置することで、生涯学習・子育て支援等の利用促進、他の活動の関心度の向上を図り、新たな交流が生まれることが期待できる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>図書館機能 子育て支援機能</td> <td>図書館機能の児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室と子育て支援機能を配置し、親子連れが利用しやすいフロアとする。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>市民活動 ビジネス支援機能</td> <td>市民活動やビジネス支援を目的とした会議室・研修室を配置し、利用者の多様なニーズに対応でき様々な交流が生まれるフロアとする。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>生涯学習機能 総合受付機能</td> <td>高齢者の利用が多いと想定される生涯学習機能のほか、展示ギャラリーや多目的ホール等により市民が気軽に立ち寄れる機能を1階に配置し、まちなかの賑わいを創出する。</td> </tr> </tbody> </table>	階	主な機能	配置理由	4	図書館機能	最も利用者の多い図書館を3、4階に配置することで、生涯学習・子育て支援等の利用促進、他の活動の関心度の向上を図り、新たな交流が生まれることが期待できる。	3	図書館機能 子育て支援機能	図書館機能の児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室と子育て支援機能を配置し、親子連れが利用しやすいフロアとする。	2	市民活動 ビジネス支援機能	市民活動やビジネス支援を目的とした会議室・研修室を配置し、利用者の多様なニーズに対応でき様々な交流が生まれるフロアとする。	1	生涯学習機能 総合受付機能	高齢者の利用が多いと想定される生涯学習機能のほか、展示ギャラリーや多目的ホール等により市民が気軽に立ち寄れる機能を1階に配置し、まちなかの賑わいを創出する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>階</th> <th>主な機能</th> <th>配置理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>生涯学習機能</td> <td>利用者が限定される生涯学習機能を4階に配置する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>総合受付機能 市民活動 ビジネス支援機能</td> <td>市民活動やビジネス支援を目的とした会議室・研修室を配置し、利用者の多様なニーズに対応できるフロアとする。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>図書館機能</td> <td>最も利用者の多い図書館を1、2階に配置することで、図書館の利便性を高めるとともに、生涯学習等利用者の立ち寄り利用が期待できる。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>図書館機能 子育て支援機能</td> <td>図書館機能の児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室と子育て支援機能を配置し、ベビーカーなど親子連れが利用しやすいフロアとする。</td> </tr> </tbody> </table>	階	主な機能	配置理由	4	生涯学習機能	利用者が限定される生涯学習機能を4階に配置する。	3	総合受付機能 市民活動 ビジネス支援機能	市民活動やビジネス支援を目的とした会議室・研修室を配置し、利用者の多様なニーズに対応できるフロアとする。	2	図書館機能	最も利用者の多い図書館を1、2階に配置することで、図書館の利便性を高めるとともに、生涯学習等利用者の立ち寄り利用が期待できる。	1	図書館機能 子育て支援機能	図書館機能の児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室と子育て支援機能を配置し、ベビーカーなど親子連れが利用しやすいフロアとする。	
階	主な機能	配置理由																															
4	図書館機能	最も利用者の多い図書館を3、4階に配置することで、生涯学習・子育て支援等の利用促進、他の活動の関心度の向上を図り、新たな交流が生まれることが期待できる。																															
3	図書館機能 子育て支援機能	図書館機能の児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室と子育て支援機能を配置し、親子連れが利用しやすいフロアとする。																															
2	市民活動 ビジネス支援機能	市民活動やビジネス支援を目的とした会議室・研修室を配置し、利用者の多様なニーズに対応でき様々な交流が生まれるフロアとする。																															
1	生涯学習機能 総合受付機能	高齢者の利用が多いと想定される生涯学習機能のほか、展示ギャラリーや多目的ホール等により市民が気軽に立ち寄れる機能を1階に配置し、まちなかの賑わいを創出する。																															
階	主な機能	配置理由																															
4	生涯学習機能	利用者が限定される生涯学習機能を4階に配置する。																															
3	総合受付機能 市民活動 ビジネス支援機能	市民活動やビジネス支援を目的とした会議室・研修室を配置し、利用者の多様なニーズに対応できるフロアとする。																															
2	図書館機能	最も利用者の多い図書館を1、2階に配置することで、図書館の利便性を高めるとともに、生涯学習等利用者の立ち寄り利用が期待できる。																															
1	図書館機能 子育て支援機能	図書館機能の児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室と子育て支援機能を配置し、ベビーカーなど親子連れが利用しやすいフロアとする。																															
3 フロア毎の機能別面積の目安	別表(フロア毎の機能別面積の目安A案)のとおり	別表(フロア毎の機能別面積の目安B案)のとおり																															
4 利用面積の比較	(1) 会議室 ① 会議室・研修室(小) ② 会議室・研修室(中) (2) 共用空間 (3) 図書館 ① 全体面積 ② 図書館機能 ③ 閉架図書 ④ 座席数	4室 5室 2, 080㎡ 3, 300㎡ 2, 500㎡ 560㎡(作業室160㎡を含む): 160, 320冊 198席	A案は一体利用フロアが多い A案は閉架図書面積が多い 窓際閲覧席等除く																														
5 管理上の比較	(1) 図書館の運営管理 (2) 図書館セキュリティ (3) 施設の運営管理	・スペースの関係上、3階に閉架図書、4階に学習室が配置され図書館と分断している ・エントランス部で図書館利用と交流施設利用を区分する4階学習室への資料持ち込み対応が必要となる ・スペースの関係上、3階で総合受付を行うこととなる																															

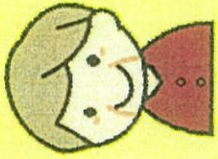
■フロア毎の機能別面積の目安 A案

	フロアの概要	諸室	1室当り面積	室数	合計面積	面積根拠	備考	
4階	図書館機能を配置 最も利用者の多い図書館を3、4階に配置することで、生涯学習・子育て支援等の利用促進、関心度を高めるなどにより、新たな交流が生まれることが期待できる。 また、地上部やエントランス、多目的ホール等から隔離することで落ち着いた雰囲気の中で読書を楽しめる静寂性が確保でき、最上階に位置することで眺望景観も確保する。	一般図書コーナー	800	1	800	開架書庫150冊/m ²	800m ² ×150冊/m ² =120,000冊	
		P.C.、AVコーナー	100	1	100	AVブース2m×2m+0.5m ²	100m ² ÷4.5m/ブース=20ブース	
3階	図書館、子育て支援機能を配置 図書館機能のうち、声を発する可能性の高い児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室など子どもたちの機能を中心に配置し、隣接して子育て支援センターを設置するほか、図書館の貸出しカウンターや事務所なども配置する。	郷土資料コーナー	100	1	100	57m ² ×150冊/m ² =10,000冊	33m ² ÷1.5m/席=22席	
		談話・休憩スペース	50	1	50	スツール、ソファ、カウンター	50m ² ÷1.5m/席=33席	
		学習室	100	1	100	4人掛けテーブル：2.5m/席	100m ² ÷2.5m/席=40席	
		レファレンス・企画展	50	1	50	会議室・研修室(小)程度	P.C.検索、コピーサービス、企画展等	
		◆共用空間	400	1	400	一体利用で廊下が不要なため25%と設定	トイレ・エレベーター・倉庫・階段など	
		小計				1,600		
		児童図書コーナー	400	1	400	一般図書コーナーの50%と設定	400m ² ×75冊/m ² =30,000冊	
		読み聞かせコーナー	80	1	80	スツール、ソファ	80m ² ÷1.5m/席=50席	
		キッズコーナー	140	1	140		室内遊具、授乳室(20m ²)	
		子育て支援センター	200	1	200	オフィス1名当り執務面積6～10m ²	職員・ボランティア室60m ² +ブレイルーム140m ²	
新聞雑誌コーナー	100	1	100	20m ² ×16冊/m ² =320冊	80m ² ÷1.5m/席=53席			
貸出カウンター等	60	1	60	会議室・研修室(小)程度	窓口業務、セルフ貸出、ブックポスト			
図書館事務所	100	1	100	オフィス1名当り執務面積6～10m ²	配本作業、事務所			
配本作業・閉架図書	120	1	120	電動集密書庫560冊/m ²	100m ² ×560冊/m ² =56,000冊			
◆共用空間	400	1	400	一体利用で廊下が不要なため25%と設定	トイレ・エレベーター・倉庫・階段など			
小計				1,600				
2階	生涯学習、市民活動、ビジネス支援機能を中心としてフロア 生涯学習、市民活動やビジネス支援を目的とした会議室・研修室のほか、食育などの場となる調理室を配置し、利用者の多様なニーズに対応でき様々な交流が生まれるフロアとする。	和室	60	1	60	先進事例より	1室和室(24畳×1室)	
		調理室	100	1	100	旧保健センターと同規模	調理台7台設置	
		会議室・研修室(小)	60	1	60	先進事例より	市民団体等の打合せ利用等	
		会議室・研修室(中)	100	3	300	先進事例より	稼働壁により3室統合可能	
		閉架図書	440	1	440	440m ² ×560冊/m ² =246,400冊	302,400÷6,000冊/年=50年分	
		◆共用空間	640	1	640	フロア面積の40%と設定	トイレ・エレベーター・倉庫・階段・廊下など	
		小計				1,600		
		多目的ホール	300	1	300	先進事例より	稼働壁で3室に分割可能	
		会議室・研修室(小)	60	3	180	先進事例より	業屋・打合せ利用のため分割可能	
		会議室・研修室(中)	100	2	200	先進事例より	多目的ホールと稼働壁で統合可能	
防音スタジオ	40	3	120	先進事例より	稼働壁により3室統合可能			
1階	生涯学習機能を中心としたフロア配置 高齢者の利用が多いと想定される機能のほか、展示ギャラリーや多目的ホール等により市民が気軽に立ち寄れる施設を1階に配置し、まちなかの賑わいを創出できる開かれた施設とする。 また、図書館への入り口として新刊図書案内コーナーや新聞雑誌が読めるスペースをエントランス内に確保するとともに、貸出本の返却コーナーを設置する。 さらには、図書館及び交流センター全体の施設案内やイベント案内などの総合案内のための総合受付・管理事務所や公民館事務所などを設置する。	飲食施設	60	1	60	20席 カフェ	カフェスペース、自動販売機	
		総合受付・管理事務所	100	1	100	オフィス1名当り執務面積6～10m ²	総合受付管理50m ² +公民館事務所50m ²	
		◆共用空間	640	1	640	フロア面積の40%と設定	エントランス・トイレ・エレベーター・倉庫・階段・廊下など	
		小計				1,600		
					6,400	延床面積		

■ A 案動線イメージ



① 図書館を利用する高齢者



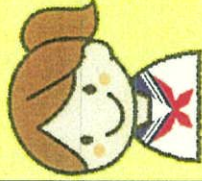
- ・(仮称) ころへ市民交流センターに入ると総合受付で今日の講座や教室の内容がモニターでわかる。図書館へ上がるエレベーターに向かうと、エントランスには〇〇保育園の子ども達の絵が飾られている。多目的ホールからは同世代の笑い声が聞こえダンスサークル等が利用している。
- ・ガラス張りのエレベーターから2階のちぎり絵教室の活動も見えた。
- ・3階で先週借りた本を返し、赤ちゃんやお母さんのにぎやかな声を聞きながら、4階で必要な本を借りて、2階の教室を覗くと知り合いが楽しそうに活動しており、少し話を聞いて気軽に参加できそうだった。

② 子育て支援センターを利用する親子



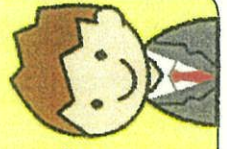
- ・(仮称) ころへ市民交流センターに入ると総合受付で今日の講座や教室の内容がモニターでわかる。図書館へ上がるエレベーターに向かうと、エントランスには〇〇保育園の子ども達の絵が飾られている。多目的ホールから出てきた高齢者に声をかけてくれて子供も楽しそう。
- ・ガラス張りのエレベーターにベビーカーのまま乗ると2階の高齢者の活動も見えた。
- ・3階のキッズコーナーなどでは、他の赤ちゃんやお母さんと情報交換しながら楽しく過ごすことができた。今度2階の調理室で離乳食教室があるので参加しようと思う。

③ 図書館に勉強しにきた高校生



- ・(仮称) ころへ市民交流センターに入ると総合受付で今日の講座や教室の内容がモニターでわかる。図書館へ上がるエレベーターに向かうと、エントランスには〇〇保育園の子ども達の絵が飾られている。防音スタジオを覗くと同級生がハンド練習をしていた。
- ・ガラス張りのエレベーターから2階の高齢者の楽しそうな活動や3階の子どもたちの姿も見えた。
- ・4階の学習室に行き机を確保して、必要な本を探しにいく。2時間ほど勉強して好きな作家の本を借りてると、キッズコーナーで同級生がボランティア活動をしていた。私も子供が好きなので、今度ボランティアに参加しようと思う。

④ 研修に参加した会社員

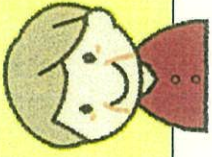
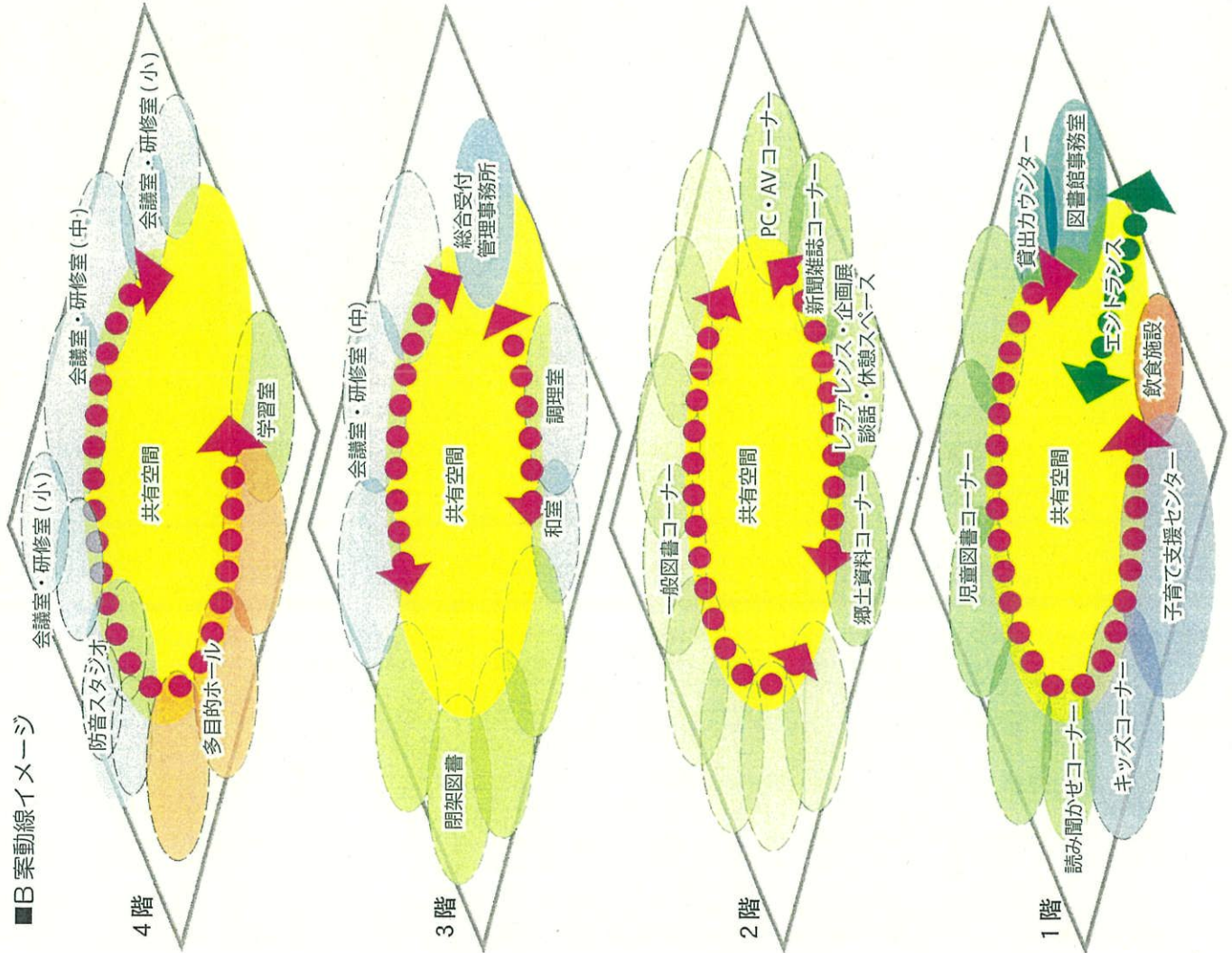


- ・(仮称) ころへ市民交流センターに入ると総合受付で今日の講座や教室の内容がモニターでわかる。多目的ホールへ向かうエントランスには〇〇保育園の子ども達の絵が飾られている。防音スタジオを覗くと高校生がハンド練習をしていた。
- ・多目的ホールで研修を受け、研修内容が興味深かったので4階の図書館で関連図書を借り、会社へ戻った。

■フロア毎の機能別面積の目安 B案

	フロアの概要	諸室	1室当り面積	室数	合計面積	面積根拠	備考
4階	生涯学習機能を中心としたフロア配置 利用団体が限定的な活動が求められる生涯学習機能を中心に配置することにも、静寂性が求められる図書館の学習室も配置する。	多目的ホール 会議室・研修室(小) 会議室・研修室(中) 防音スタジオ 学習室 ◆共用空間 小計	300 60 100 40 100 640	1 4 2 3 1 1	300 240 200 120 100 640 1,600	先進事例より 先進事例より 先進事例より 先進事例より 4人掛けテーブル・2.5m ² /席 フロア面積の40%と設定	可動壁で3室に分割可能 柔履・打合せ利用のため分割可能 多目的ホールと可動壁で統合可能 可動壁により3室統合可能 100m ² ÷2.5m ² /席=40席 トイレ・エレベーター・階段・廊下など
3階	生涯学習、市民活動、ビジネス支援機能を中心としたフロア配置 生涯学習、市民活動やビジネス支援を目的とした会議室・研修室のほか、食育などの場となる調理室、3、4階の総合受付や管理、公民館事務所、図書館の開架図書スペース400m ² を配置し、利用者の多様なニーズに対応でき様々な交流が生まれるフロアとする	和室 調理室 会議室・研修室(中) 総合受付・管理事務所 開架図書 ◆共用空間 小計	60 100 100 100 400 640	1 1 3 1 1 1	60 100 300 100 400 640 1,600	先進事例より 旧保健センターと同規模 先進事例より オフィス1名当り執務面積6~10m ² 400m ² ×560冊/m ² =224,000冊 フロア面積の40%と設定	1室和室(24畳×1室) 調理台7台設置 可動壁により3室統合可能 総合受付管理50m ² +公民館事務所50m ² 224,000÷6,000冊/年=37年分 トイレ・エレベーター・階段・廊下など
2階	図書館機能を配置 最も利用者の多い図書館を1、2階に配置することで、図書館利用者の利便性を高める。	一般図書コーナー PC、AVコーナー 郷土資料コーナー 談話・休憩スペース 新聞雑誌コーナー レファレンス・企画展 ◆共用空間 小計	800 100 100 50 100 50 400	1 1 1 1 1 1 1	800 100 100 50 100 50 400 1,600	開架書庫150冊/m ² 100m ² ÷4.5m ² /ブース=20ブース 33m ² ÷1.5m ² /席=22席 50m ² ÷1.5m ² /席=33席 80m ² ÷1.5m ² /席=53席 PC検索、コピーサービス、企画展等 1体利用で廊下が不要なため25%と設定	800m ² ×150冊/m ² =120,000冊 100m ² ÷4.5m ² /ブース=20ブース 33m ² ÷1.5m ² /席=22席 50m ² ÷1.5m ² /席=33席 80m ² ÷1.5m ² /席=53席 PC検索、コピーサービス、企画展等 トイレ・エレベーター・階段など
1階	図書館、子育て支援機能を配置 図書館機能のうち、声を発する可能性の高い児童図書や読み聞かせコーナー、キッズコーナー、授乳室など子どものための機能を中心に配置し、隣接して子育て支援センターを設置するほか、図書館の貸出しカウンターや事務所、来館者の休憩スペースとして飲食施設なども配置する。	児童図書コーナー 読み聞かせコーナー キッズコーナー 子育て支援センター 貸出カウンター等 図書館事務所 飲食施設 ◆共用空間 小計	400 80 140 200 60 100 60 560	1 1 1 1 1 1 1 1	400 80 140 200 60 100 60 560 1,600 6,400	一般図書コーナーの50%と設定 スツール、ソファ1.5m ² /席 オフィス1名当り執務面積6~10m ² 会議室・研修室(小)程度 オフィス1名当り執務面積6~10m ² 20席 カフェ エントランス空間を縮小し560m ² とする	400m ² ×75冊/m ² =30,000冊 80m ² ÷1.5m ² /席=50席 室内遊具、授乳室(20m ²) 職員・ボランティア室60m ² +プレイルーム140m ² 窓口業務、セルフ貸出、ブックポスト 配本作業、事務所 カフェ・軽食提供 トイレ・エレベーター・階段・廊下など

■B 案動線イメージ



①図書館を利用する高齢者

- ・(仮称)くろへ市民交流センターに入ると今日の講座や教室の内容がモニターでわかる。そのまま図書館に入り、先週借りた本を返し、赤ちゃんやお母さんのにぎやかな声を聞きながら、2階で必要な本を借り、用事が済んだので帰宅した。



②子育て支援センターを利用する親子

- ・(仮称)くろへ市民交流センターに入ると今日の講座や教室の内容がモニターでわかる。
- ・図書館に行くとき、ここで知り合った赤ちゃんやお母さんや情報交換しながら楽しく過ごすことができた。今度3階の調理室で離乳食教室があるので参加しようと思う。



③図書館に勉強しにきた高校生

- ・(仮称)くろへ市民交流センターに入ると今日の講座や教室の内容がモニターでわかる。
- ・図書館の2階に上り必要な本を借り、4階の学習室で2時間ほど勉強してから2階に戻り、好きな作家の本を借りると、キッズコーナーで同級生がホランテニア活動をしていた。私も子供が好きなので、今度ホランテニアに参加しようと思う。



④研修に参加した会社員

- ・(仮称)くろへ市民交流センターに入ると今日の講座や教室の内容がモニターでわかり、4階の多目的ホールに向かう。
- ・カラオケのエリアから2階の図書館や3階の高齢者の楽しそうな活動が見えた。
- ・4階で降りて多目的ホールで研修を受けた。研修内容が興味深かったので2階の図書館で関連図書を借り、会社へ戻った。

(4) 施設配置の決定

(3)での比較等の検討を踏まえ、下記の理由により(仮称)くろべ市民交流のセンターの施設配置については、図書館を核とした複合施設として、3階から4階に図書館を配置し市民の交流が自然に発生する案(A案)を採用することとします。

■ A案を採用する理由

① 駐車場確保と図書館機能の面積確保の観点

- ・下層階に図書館を配置すると、図書館利用者の利便性は確保されますが、エントランスなど共用スペース面積が必要となることから、図書館機能の面積の確保が厳しくなる。
- ・同一敷地内での駐車場の確保が強く求められており、約4,100㎡の敷地面積の中で現在想定されている駐車台数の約70台に加え、設計上の工夫などにより、駐車場の増設を検討していく必要がある。
- ・このため1階の面積を削減しなければならないことも想定できることから、図書館機能を上層階に配置する方が望ましいと考えられる。

② 運用面の観点

- ・図書館機能や生涯学習機能の開館時間や休館日などの運営面にもよりますが、図書館よりも遅くまで利用すると思われる生涯学習機能を1階に配置した方が賑わいの雰囲気を感じることができる。

③ 公民館行事等イベント開催時の利便性の観点

- ・生涯学習機能を下層階に配置した方が、公民館まつりなどのイベント開催時において、駐車場やエントランスの活用による館内イベントと一体的に行事を行うことができる。また、大きな機材の搬入にも利便性がある。

④ 管理運営及び利用の観点

- ・下層階に図書館を配置すると施設管理事務所や総合受付を上層階に配置しなければならず、施設全体の管理運営や利用者への案内が不便になる。

⑤ 賑わい空間と静寂な空間との調和の観点

- ・図書館を上層階に持っていくことで振動や騒音などを気にすることなく、落ち着いた雰囲気の中で読書を楽しめる静寂性が確保できる。

なお、ゾーニング計画や基本・実施設計にあたってはB案の「多様な世代が利用する図書館の利便性、安全性を確保できる」などのメリットについては、施設を管理運営していく中で大変重要であると考えられますので、その対応についても併せて検討していくことが望ましいと考えられます。

【参考】複合施設の図書館階数

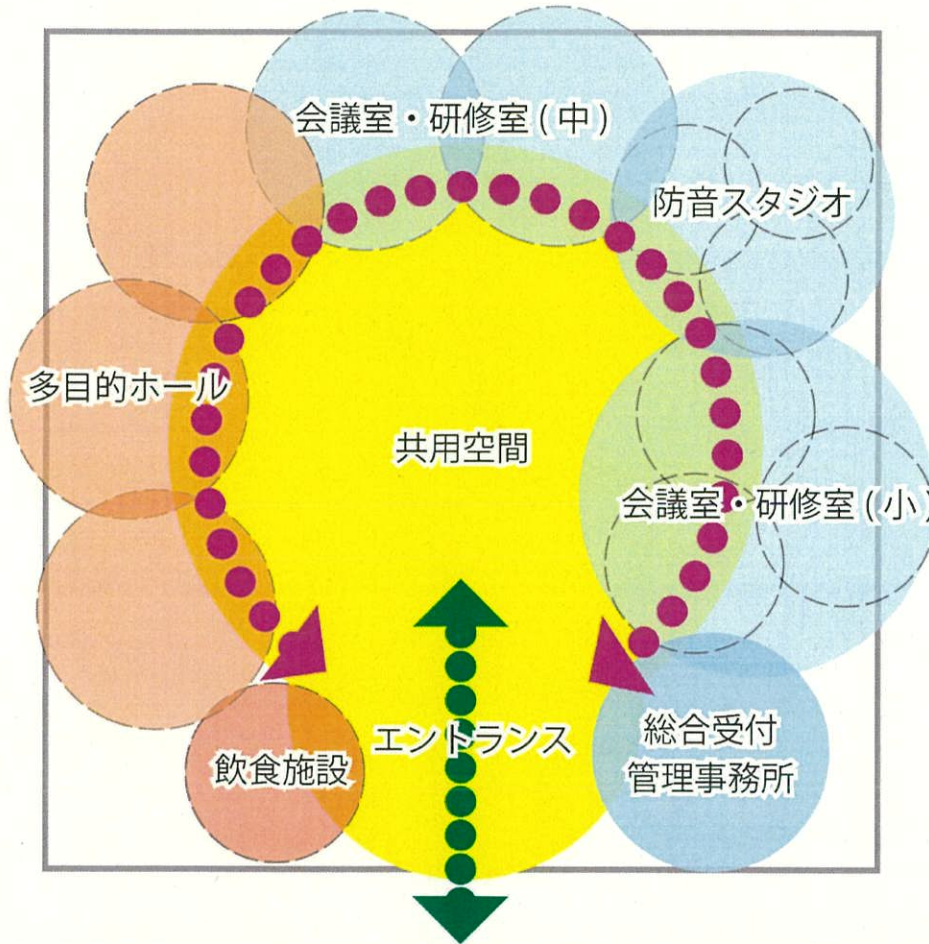
面積算定の参考とした複合施設において、4階建て以上の施設の図書館の階数は以下のとおりであり、2階以上に配置している施設が多くみられます。

施設名	建物階数	図書館階
河内長野市立市民交流センターKICCS	5階	1、2階
いわて県民情報交流センターアイーナ	8階	3、4階
いわき市立いわき総合図書館	8階	4、5階
塩尻市民交流センターえんぱーく	5階	1、2階
武蔵野プレイス	地上4階 地下3階	2階 地下1階
徳島市立図書館	11階	5、6階
江東区豊洲シビックセンター	11階	9、10、11階

(5) 施設のゾーニング計画

①1 階ゾーニング計画

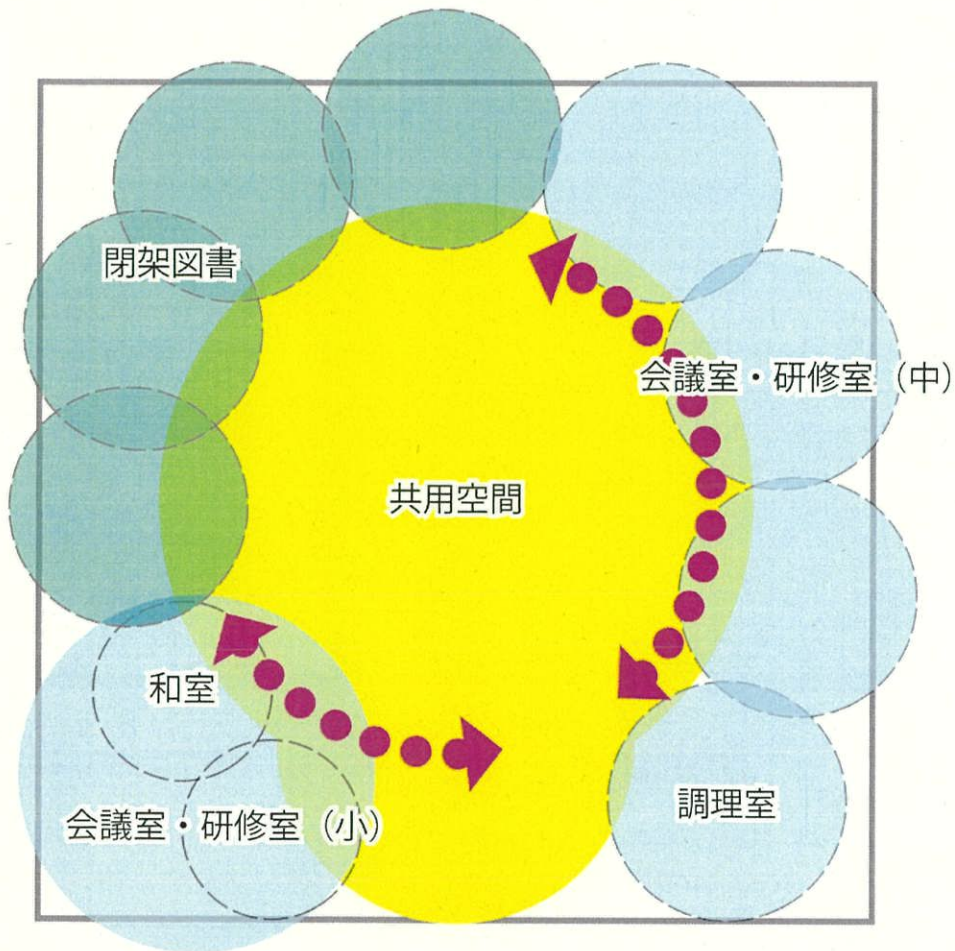
- ・施設入口部には総合受付・管理事務所・公民館事務所を設け、施設全体を管理します。
- ・入口にはエントランスホールを設け、**新刊図書案内コーナー、新聞雑誌コーナー及び貸出本返却本コーナー**を設けるとともに、イベントや展示ギャラリーとして活用します。
- ・エントランスホールに隣接して飲食施設を設置し、誰もが気軽に訪れやすい空間とします。
- ・施設中心部には共用空間としてトイレ、給湯、階段、エレベーターを設け、共用空間から各施設へアクセスできる動線とします。
- ・多目的ホールと会議研修室（中）を隣接させ可動壁により一体利用できるものとします。
- ・イベント時には会議研修室（小）や防音スタジオが楽屋、控室として利用できるものとします。



施設名	主な機能など
多目的ホール	可動壁で3室に分割、講演会、発表会、ダンスサークル
会議室・研修室（中）	可動壁で多目的ホールと一体化可能、会議、研修、サークル
会議室・研修室（小）	可動壁で統合、分割可能、講座、サークル、楽屋、控室
防音スタジオ	可動壁により統合可能、音楽練習、音読収録、対面朗読
総合受付・管理事務所	施設の受付、維持管理運営、公民館事務所
飲食施設	カフェ 20 席、自動販売機設置
共用空間	エントランス・トイレ・エレベーター・倉庫・階段・廊下等

②2階ゾーニング計画

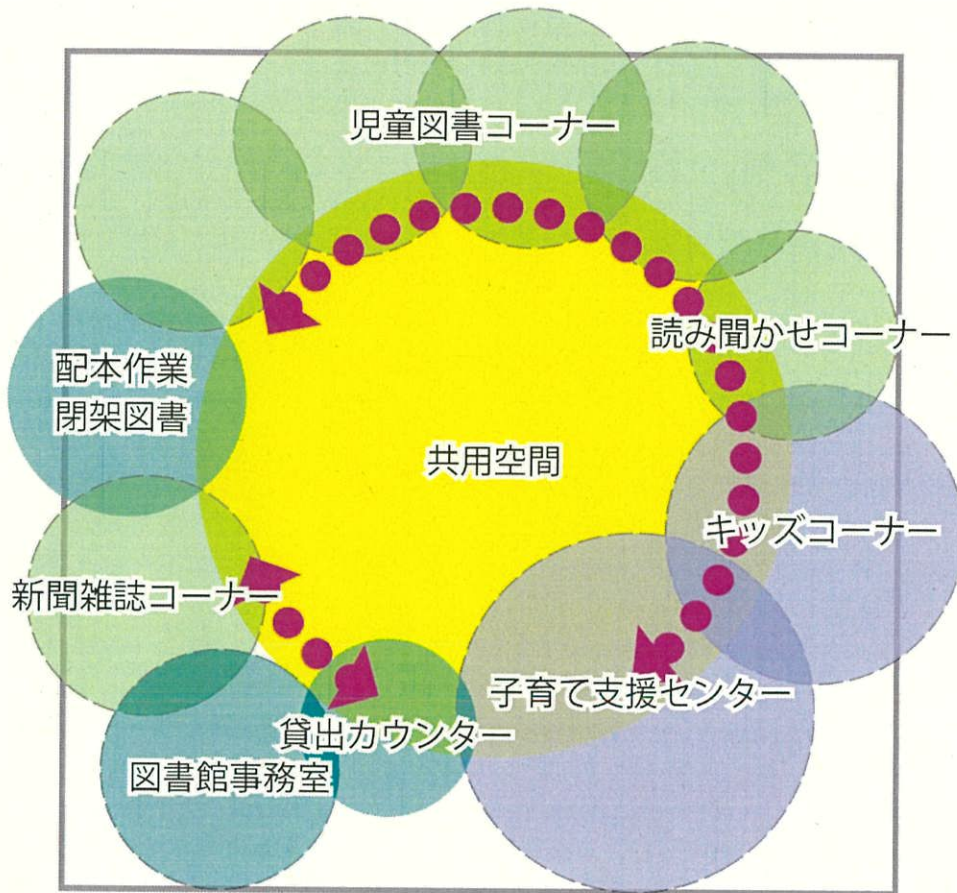
- 会議室・研修室（中）は、3室を可動壁によって一体利用できるように配慮します。
- 会議研修室（小）の1室は、12畳2間の和室として整備します。
- 食育や郷土料理の継承のための調理室は換気などに配慮して正面側に設けます。
- 図書館の閉架図書のうち貴重資料や移動の少ない図書を中心に2階フロアの閉架図書に収納します。また、2階に440㎡の図書館機能を配置することで共用スペースを含め図書館総面積を3,300㎡確保します。



施設名	主な機能など
和室	和室 12 畳 2 室分割可能、床の間、押入れ
調理室	調理台 7 台設置、食育、郷土料理継承、離乳食等
会議室・研修室（小）	講座、サークル、打合せ等
会議室・研修室（中）	可動壁で統合可能、会議・研修、市民団体等詰所、倉庫等
閉架図書	貴重図書保管、電動密集書庫 246,400 冊保管可能
共用空間	トイレ・エレベーター・倉庫・階段・廊下等

③3階ゾーニング計画

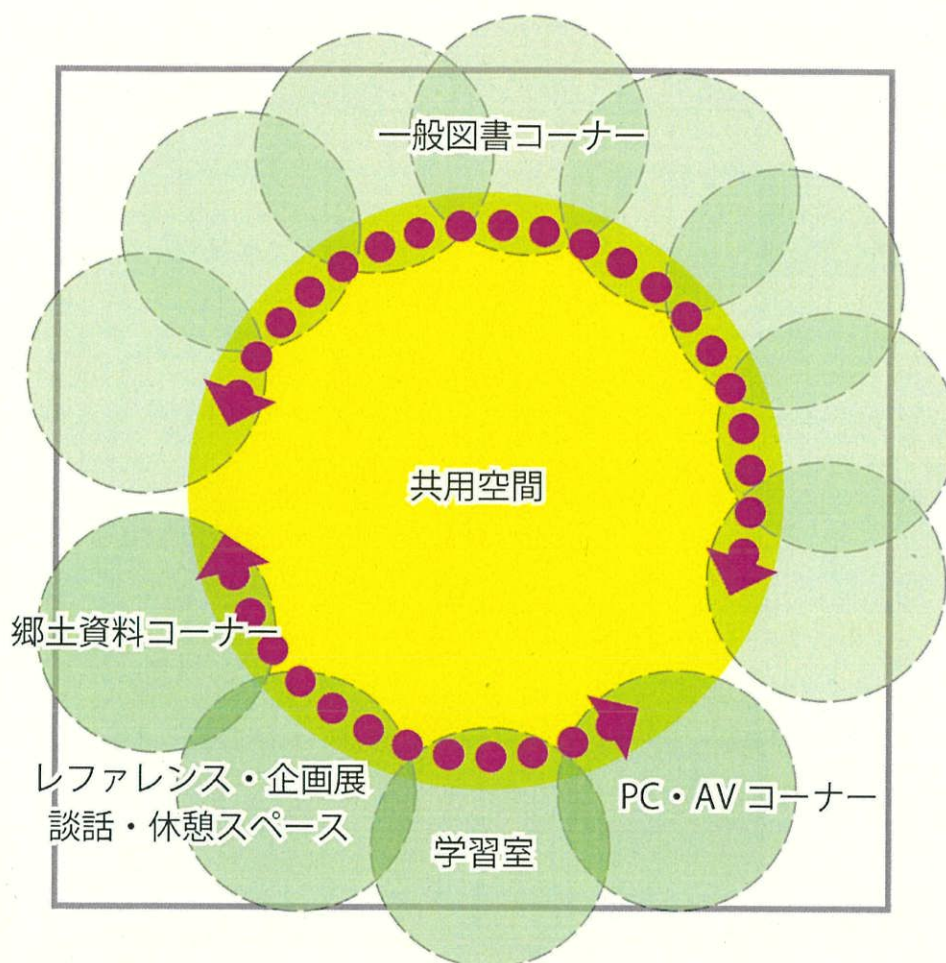
- 児童図書、読み聞かせ、キッズコーナー、子育て支援など親子が安心して過ごせる空間を創出します。
- 新聞雑誌コーナーについてはある程度静寂な環境を保てるよう、児童図書コーナーなどと閉架図書で分離します。
- 正面部分に管理がしやすいよう貸出カウンター、図書館事務室を配置します。



施設名	主な機能など
児童図書コーナー	子ども用の低書架 30,000 冊、明るく探しやすい閲覧スペース
読み聞かせコーナー	音漏れの配慮、裸足寝転がれる、授乳室、ボランティア室等
キッズコーナー	読み聞かせコーナーと一体可能、室内遊具、ボールプール等
子育て支援センター	子育て支援センター事務所、ボランティア室、プレイルーム
新聞雑誌コーナー	最新の新聞雑誌の閲覧、ソファ・スツール等 53 席
貸出カウンター	窓口業務、セルフ貸出、返却、ブックポスト
図書館事務所	図書館館長、職員、応接等
閉架図書	児童図書保管、電動密集書庫 56,000 冊保管可能
共用空間	トイレ・エレベーター・倉庫・階段等

④4階ゾーニング計画

- 一般図書コーナーを大きく確保し、郷土資料コーナーやPC・AVコーナー、学習室、レファレンス・企画展、談話・休憩スペースを集約して配置します。
- できる限り書棚を低くするなど1フロアとして広がりのある空間の確保に配慮します。
- 郷土資料コーナー、談話・休憩スペース、学習室に約90席分の読書スペースを確保するとともに、一般図書コーナーや共用空間などの窓際やデッドスペースにカウンター席を設けます。



施設名	主な機能など
一般図書コーナー	120,000冊、中央部低書架、書架配置、明るい閲覧スペース
PC、AVコーナー	AVブース20席、PC利用カウンター
郷土資料コーナー	自然文化、ジオパーク、北方領土資料10,000冊、閲覧席22席
談話・休憩スペース	ソファ、テーブル、椅子、スツール、カウンターなど33席
学習室	コンセント、wifi設備、静寂性、明るく、ガラス張り40席
レファレンス・企画展	PC検索、情報発信、企画展示、コピー機
共用空間	トイレ・エレベーター・倉庫・階段等